

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 3年 1月27日

協議会名：	深谷市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>深谷市は面積が138.41km、人口143,097人で埼玉県の北西部に位置し、平坦な地形を呈している。また、市内には広域的な移動手段であるJR高崎線と秩父鉄道の2つの鉄道で計7駅が整備されており、この鉄道と結節する地域間移動の足として、市内に民間路線バスが3路線運行されている。コミュニティバス「くるリン」は、これらを補完する役割として平成12年度から本格運行しているが、広域的に循環させるため路線が長大化し本数も少なく、交通空白地帯も多く残されている。</p> <p>このような状況を踏まえ、今後、高齢化による交通弱者が増加していく中において、交通弱者の病院・買い物施設等への足の確保が課題であり、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを構築していくことが必要となっている。</p> <p>そこで、鉄道や民間路線バスとコミュニティバス「くるリン」を有効に結節させ、既存の公共交通を維持確保するとともに、交通弱者の足の確保および交通空白地帯の解消を目的として本事業を実施する。</p>